



平戸

平成30年1月7日
横浜市立平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町542番地
TEL045-821-2329



年の初めに

校長 菅原 久忠

新年あけましておめでとうございます。

今年は猪年。猪突猛進（ちよとつもうしん）という言葉がありますが、辞書によると「イノシシのように向こう見ずに突進すること」とあります。時には、後先を考えずに突っ走ってみたいものですが……。31年前、当時の小渕官房長官が「新しい年号が『平成』に決まりました。」とテレビで発表した様子が、春からの教員スタートを控えていた私の記憶に鮮明に残っています。新しい年号を迎える年でもありますが、学校でも2020年新学習指導要領完全実施に向けて、諸準備をさらに進めていきます。

さて、冬休みに入る直前の朝会では、12月の「ほけんだより」で紹介されていた「だれもが星」という詩を改めて紹介しながら12月ほけん目標であった「自分や友達のよさをみつけよう」ということを話題にしました。

『私が、小学生の頃、算数が苦手、跳び箱も走るのも苦手、漢字を覚えるのも苦手だったことを以前にお話ししましたね。当時、6年生で逆上がりができなかった人が2人いました。その一人は私で、もう一人は170cmの横浜市体育大会の走り幅跳びで新記録を出し、その後、高校野球で甲子園によく出場する学校の投手にもなった友達です。その友達とは仲間外れにされたりあだ名をつけられたりすることがあって心の距離が離れてしまっていました。でも、その友達が泣きながら「一緒に練習してくれてありがとう。」と言ってきたこともあり、人には得意なことと苦手なことがあって、そういったことを分かり合えるとなにかいいなって思ったのです。新しい年を迎えるこの冬休みに自分のよさをゆっくりと考えてほしいです。』

だれもが星

秋月 菜央

人はみんな 星の形をしている
とがった部分とへこんだ部分
長所と短所 得意と苦手

たとえばあの人は

数字に強いけど けっこう音痴

おっちょこちょいだけど 盛り上げるのがうまい

だめなところがあれば 必ず光るところがある

そのジクザクでバランスがとれる

それは誰もが持つ星の形

あなたも星のひとつ

子どもたちの中には、自分と友達を比べて、違いや差ばかり考えてしまう子がいます。人との違いに優越感や劣等感を感じて、好き嫌いや得意不得意を決めてしまいます。また、ときには、友達と比べてできないと、嫌になってあきらめてしまったり、やめてしまったりする子がいます。

違いや差をお互いに受け止めて、自分の目標とすることに積極的に活かしていくことができるようになるためには、様々な経験を重ねていくことが必要でしょう。違いや差から自分にはないものを吸収して、ときには力を合わせていく経験ができる場として、学校は一層、大切な場となると考えています。

年の初めにあって、学校が担うことや家庭・地域の皆様と取り組んでいくことを改めて考えていきたいです。地域の皆様、保護者の皆様、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。